

□教科	公民(特進)		
□授業時数	4時間 /週		
□教材	中学生の歴史(帝国書院), グラフィックワイド歴史(とうほう), 中学生の公民(帝国書院), シリウス特注教材(育伸社), スタディサプリ, ビジュアル公民2024(とうほう)		
□学習到達目標	現代社会の成り立ちを概観し, 現代社会の特色を理解できるようにする。適切な課題の設定を通し生徒の学習意欲を高め, 公民的分野の関心を高める。地理・歴史的分野の学習を踏まえ, 多角的・多面的な見方・考え方ができるようにする。		
□成績評価基準	定期テストの平均点(年間5回実施)および平常点により評価する。平常点は, 授業態度・授業ノート提出状況・課題提出状況・授業内レポート・小テストなどを対象とするので, 積極的な授業参加を期待する。		
□授業計画	月	単元・項目	内 容 備 考
	4月	第2部第4章 近代国家の歩みと国際社会 第5節 帝国主義と日本 1 アジアの列強を目指して 2 朝鮮をめぐる対立 日清戦争 3 世界が目にした日露戦争 4 塗り替えられたアジアの地図 第6節 アジアの強国と光と影 1 近代日本を支えた糸と鉄 2 変わる都市と農村 3 欧米の影響を受けた近代文化	※1学期は歴史分野を継続履修する。 ○ヨーロッパ列強の帝国主義, 日本の条約改正と朝鮮情勢を学ぶ。 ○甲午農民戦争から日清戦争と戦後処理の日本の朝鮮進出を学ぶ。 ○日露戦争の原因と経過, また戦後処理と条約改正の達成を学ぶ。 ○日本の帝国主義化による朝鮮進出と, 清の滅亡を学習する。 ○日本の産業革命は軽工業の生糸と重工業の製鉄を理解する。 ○日本の列強入りと資本主義社会による社会問題の出現を学ぶ。 ○日本の伝統文化に欧米文化が導入され, 文化の近代化を学ぶ。
	5月	第5章 二度の世界大戦と日本 第1節 第一次世界大戦と民族独立の動き 1 第一次世界大戦の始まりと総力戦 2 第一次世界大戦の拡大と日本 3 第一次世界大戦と欧米諸国 4 アジアの民族自決と国際協調 第2節 高まるデモクラシーの意識 1 護憲運動と政党内閣の成立 2 社会運動の高まりと普通選挙の実現 3 近代都市に現れた大衆文化	○三国同盟と三国協定の対立と第一次世界大戦の勃発・経過を学ぶ。 ○第一次世界大戦の日本の動向とロシア革命, ソ連の誕生を学ぶ。 ○第一次世界大戦の戦後処理と国際連盟の誕生, 民主化を学ぶ。 ○朝鮮と中国の反日運動, インドの抵抗とワシントン会議を学ぶ。 ○護憲運動と日本経済の状況, 本格的政党内閣の誕生を学ぶ。 ○男子普通選挙と治安維持法, 女性や労働者, 被差別民の抵抗を ○都市化と大衆文化の内容, 沖縄やアイヌ文化の伝承を学習する。
	6月	第3節 戦争に向かう世論 1 世界恐慌と行き詰まる日本 2 欧米諸国が選択した道 3 強まる軍部と衰える政党 4 日中戦争と総力戦に向かう国民生活 第4節 第二次世界大戦の惨禍 1 第二次世界大戦への道 2 太平洋戦争と植民地支配の変化 3 戦局の悪化と戦時下の暮らし 4 ポツダム宣言と日本の敗戦 第6章 現在に続く日本と世界 第1節 敗戦から立ち直る日本 1 敗戦からの出発 2 新時代に求められた憲法 3 冷たい戦争とその影響	○世界恐慌の影響と日本の状況, また政党政治への世論を学ぶ。 ○欧米諸国やソ連の経済対策とファシズム出現を学ぶ。 ○軍部による日本の大陸進出と満洲国と国内クーデタを学ぶ。 ○日中戦争と抗日統一戦線, 国内統制の厳格と国民生活を学ぶ。 ○第二次世界大戦と日本のアジア侵略に対する日米交渉を学ぶ。 ○太平洋戦争の開始と経過, 皇民化政策を学習する。 ○日本の戦局悪化への対応とイタリア・ドイツの降伏を学ぶ。 ○原子爆弾の投下によるポツダム宣言受諾と戦争の傷跡を学ぶ。 ○極東国際軍事裁判とシベリア抑留・中国残留孤児を学ぶ。 ○GHQによる占領政策内容と日本国憲法制定を学習する。 ○国際連合と東西両陣営の冷戦, 朝鮮戦争と日本の対応を学ぶ。
	7月		歴史分野の総復習 ○定期テスト②
	9月	第1部第1章 現代社会と文化 第1節 現代社会の特色 1 情報化が進む現代 2 グローバル化が進む現代 3 少子高齢化が進む現代 第2節 私たちの生活と文化 1 生活に息づく文化 2 日本の伝統と文化 第2章 現代社会をとらえる枠組み 1 社会的存在として生きる私たち 2 効率と公正 3 私たちときまり 第2部第1章 日本国憲法 第1節 民主主義と立憲主義 1 民主主義と立憲主義 2 人権保障と法の支配 3 日本国憲法の成立 4 国民主権 5 日本の平和主義	※2学期から公民分野を学習する。 ○情報社会のプラス面とマイナス面, 情報リテラシーを学ぶ。 ○グローバル化, 国際分業, 競争, 協調, 多文化共生を学ぶ。 ○少子高齢社会の実態と問題について学習する。 ○文化とは何か。その多岐にわたる内容と異文化理解を学ぶ。 ○日本の文化の特色と年中行事, 伝統文化とその継承を学ぶ。 ○社会集団の中で人間の考え方, 対立から合意の大切さを学ぶ。 ○合意に至るには効率と公正の考え方が必要であることを学ぶ。 ○きまり(契約)を作って合意することも重要であることを学ぶ。 ○国家権力・民主政治・立憲主義それぞれの内容を学ぶ。 ○基本的な人権の歴史と国際的な取り組み, 法の支配を学習する。 ○大日本帝国憲法と日本国憲法の成立とその相違を学ぶ。 ○国民主権の意義と象徴天皇制・国事行為を学習する。 ○自衛隊・集団的自衛権・日米安全保障条約・非核三原則を学ぶ。

□授業計画	月	単元・項目	内 容	備 考
	10月	第2節 基本的人権の尊重 1 個人の尊重と憲法上の権利 2 自由権 3 平等憲と差別されない権利 4 日本社会の差別の現状 5 社会権 6 政治に参加する権利と人権を守るための権利 7 これからの人権を考える 第3節 法の支配を支えるしくみ 1 権力の分立 2 憲法の保障・改正と私たち	○個人の尊重の大切さと、不断の努力で獲得したことを学ぶ。 ○精神・身体・経済活動それぞれの自由を説明し理解させる。 ○法の下での平等を基本に差別のない社会、男女平等を学ぶ。 ○アイヌの人々、在日韓国・朝鮮人、病気などの差別を学ぶ。 ○生存権、教育を受ける権利、労働基本権などを学習する。 ○公共の福祉、参政権、国務請求権、国民の義務について学ぶ。 ○新しい人権として、プライバシーの権利、自己決定権、環境権や知る権利、外国人に対する権利について学習する。 ○三権分立など権力分立と、権力の濫用を防ぐ重要性を学ぶ。 ○司法の違憲審査権など憲法を維持する働きと憲法改正を学ぶ。	○スタディサプリの第2部 第1章 第2節を見る。 ○定期テスト③ ○スタディサプリの第2部 第1章 第3節を見る。
	11月	第2章 民主政治 第1節 民主政治と私たち 1 国民の願いを実現するために 2 世論とマスメディア 3 政党の役割 4 選挙制度とその課題 第2節 国の政治のしくみ 1 国会の役割としくみ 2 国会の現状と課題 3 内閣の役割としくみ 4 行政の役割と課題 5 私たちの生活と裁判 6 人権を守る裁判とその課題 第3節 地方自治と私たち 1 地方自治と地方公共団体 2 地方公共団体のしくみと政治参加 3 地方財政の現状と課題 4 私たちと政治参加	○直接民主制と間接民主制、議会制民主主義と国会議員を学ぶ。 ○政権公約やマスメディアとメディアリテラシーを学習する。 ○政党の種類や役割と日本の政党の歴史を学習する。 ○選挙の原則と日本の選挙制度の内容、および課題を学習する。 ○国会の主な仕事とその仕組みや国会議員の身分保障を学ぶ。 ○法律が制定されるまでの過程や今後の国会のあり方を学ぶ。 ○内閣の組織や国会との議院内閣制を学習する。 ○行政権が拡大していた状況から行政改革や規制緩和を学ぶ。 ○裁判所と裁判の種類と三審制や司法権の独立について学ぶ。 ○裁判での人権保障と司法制度改革、裁判員制度を学習する。 ○地方自治の仕事内容と地方分権の動きについて学習する。 ○首長や地方議会のしくみや直接請求権、住民投票を学習する。 ○地方財政の内容と国に依存する課題や今後の地方自治を学ぶ。 ○投票率による政治参加の問題について学習する。	○スタディサプリの第2部 第2章 第1節を見る。 ○スタディサプリの第2部 第2章 第2節を見る。 ○定期テスト④ ○スタディサプリの第2部 第2章 第3節を見る。
	12月		2学期の総復習	
	1月	第3部 第1章 市場経済 第1節 私たちの生活と経済 1 経済活動とお金の役割 2 お金の使い方と経済の考え方 3 価格の動きと経済 第2節 消費者と経済 1 家計の収入と支出 2 消費生活と流通の関わり 3 消費者問題と政府の取り組み 第3節 企業と経済 1 私たちの生活と企業 2 企業活動のしくみ 3 金融のしくみと働き 4 企業競争の役割 5 働くことの意義と労働者の権利 6 労働環境の変化と私たち 7 企業の社会的責任	○経済活動とは何か、消費・生産・分業と経済の循環を学ぶ。 ○希少性の資源を有効に利用するための選択や配分を学習する。 ○市場経済における価格の動きと独占・寡占の状況を学習する。 ○家計収入である所得と支出や貯蓄、キャッシュレス決済を学ぶ。 ○流通のしくみと通信販売、広告のあり方を学習する。 ○売買の契約と消費者被害、また消費者を保護する内容を学ぶ。 ○企業と消費者の関係と企業の目的としての利潤を学習する。 ○企業の種類と株式会社のしくみを学習する。 ○金融の種類と働き、また新しい金融のフィンテックを学ぶ。 ○経済の原動力である競争と公正な競争をするしくみを学ぶ。 ○労働三法と働く機会を提供するための男女平等などを学ぶ。 ○雇用のあり方と、仕事と私生活のバランスについて学ぶ。 ○企業における社会的責任と市場や国際社会への責任を学ぶ。	○錬成テスト② ○スタディサプリの第3部 第1章 第1節を見る。 ○スタディサプリの第3部 第1章 第2節を見る。 ○スタディサプリの第3部 第1章 第3節を見る。
	2月	第4節 これからの日本経済 1 景気の変動とその影響 2 日本銀行と金融政策 3 グローバル化と日本経済 4 これからの日本の経済と私たち 第2章 財政 1 私たちの生活と財政 2 国の支出と収入 3 社会資本の役割と環境への取り組み 4 社会保障と私たちの生活 5 これからの日本の財政	○景気変動における問題点と経済成長、物価の変動を学習する。 ○日本銀行の働きと金融政策と近年の金融緩和策について学ぶ。 ○為替レートにおける円高と円安、多国籍企業について学ぶ。 ○経済活動のデジタル化と人工知能AI、TPPを学習する。 ○所得の再分配と財政政策について学習する。 ○国の歳入・歳出と税金、また税金の公平性の累進課税を学ぶ。 ○環境問題に関連して循環型社会と日本の社会資本を学ぶ。 ○社会保障のしくみと高齢化への対応とマイナンバー制度を学習する。 ○財政赤字の実態と財政再建、これからの財政の課題を学ぶ。	○スタディサプリの第3部 第1章 第4節を見る。 ○スタディサプリの第3部 第2章を見る。 ○定期テスト⑤
	3月		公民分野の総復習	